

自立活動支援センター 令和元年9月4日 発行

自立活動支援センターでは、保護者の皆様へ、聞こえや補聴器・人工内耳などに関する情報を提供し、共に適切な支援を行っていくために「自立活動だより」を発行していきます。

センターでは、子どもたちの聞こえに合わせて聴力検査、補聴器や人工内耳の点検、聴覚学習を定期的に行っています。このほか、毎週補聴器店の方が来校しており、補聴器やイヤモールド等不具合がある際には、すぐに相談できます。

さて、夏休みが明け1週間が経ちました。暑い日々が続いた中、補聴器や人工内耳に変わりはないでしょうか。2学期が始まった今、お手入れを丁寧に行っていきましょう！

## ～補聴器や人工内耳のお手入れ～

- ① 補聴器本体から、チューブごとイヤモールドを外す。

※人工内耳は機種によって分解の方法が異なるため、注意してください。



- チューブが堅くなっていないか
- 水滴がたまっていないか
- イヤモールドがひび割れていないか



- ② 補聴器本体・人工内耳(電池ホルダーも)をティッシュや乾いた布で拭く。

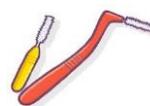
- ③ チューブやイヤモールドを水洗いする。汚れがひどい時は、ぬるま湯にしばらくつけてから歯間ブラシなどを使って洗う。

※透湿バント付きのイヤモールドも水洗いできます。ただ、透湿バント部は、こすらないようにして下さい。



- ④ こよりやエアブローで水分を拭き取る。  
ドライヤーで乾かす場合は、冷風を当てる。

- ⑤ 分解したまま、乾燥ケースの中にしまう。  
電池の消耗が早くなるので、電池は入れない。

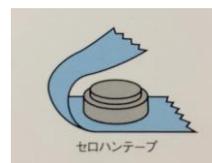


<電池がなくなったら・・・>

補聴器や人工内耳に使われているのは、空気電池が多いです。そのまま捨てたり放置したりすると、発火の原因になります。

- ① セロテープで電池を覆う…絶縁(ぜつえん)といいますが。

- ② 電池を捨てる(補聴器販売店は電池回収箱があります。家電量販店でも回収しているので、お店の方にお尋ねください)



※将来、社会に出てから「どこで買えるの?」「いくらするの?」「どこに捨てるの?」等で困らないように、小さいころから家族と一緒に買いに行ったり捨てに行ったりすることが大事ですね。